

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会福祉援助技術演習Ⅰ（Skills Training for Social Work PracticeⅠ）		
ナンバリングコード	E20926	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年／開講期	3年／通年集中
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E021505	クラス名	2020以前学生用
担当教員名	河村 裕次、田中 秀和、林 孝和		
履修上の注意、 履修条件	「社会福祉援助技術演習Ⅱ」・「社会福祉援助技術現場実習指導」・「社会福祉援助技術現場実習」の3科目の履修には、「社会福祉援助技術演習Ⅰ」の単位を修得していることが条件となります。 聴くこと、見ること、調べること、そして、真剣に考え、積極的に取り組むことを心がけてください。 また、やむを得ない場合を除いて、欠席、遅刻は認められません。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	相澤譲治・植戸貴子他編(2012)『ソーシャルワーク演習ケースブック』みらい 澤伊三男他編『社会福祉援助技術演習ワークブック』相川書房 山田容他著『ワークブック社会福祉援助技術演習1～5』ミネルヴァ書房		
関連科目	相談援助の基盤と専門職、相談援助の理論と方法、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童福祉論、公的扶助論、社会福祉援助技術現場実習、社会福祉援助技術現場実習指導、社会福祉援助		

○基本情報		
授業の目的	(社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ共通) 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。	
授業の概要	社会福祉援助技術演習Ⅰでは、まず相談援助職に求められる姿勢(価値観、自己覚知等)についてグループ活動を通じて学んでいきます。その後、ソーシャルワークの援助過程について、事例をもとにそれぞれの過程で何を目的に援助職は何をするのかについて考えていきます。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	カテゴリーⅢ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	グループ活動に積極的に参加することができる。		10点	10点
【知識・理解】	社会福祉士に求められる相談援助に係る知識について理解している。		10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	グループ活動や発表において、自分の考えを適切に伝えることができる。		15点	15点
【思考・判断・創造】	講義を通じて、学んだことを専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。		15点	15点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
各種提出物をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 講義・グループ活動への参加をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。	

○その他
グループワークが中心とした講義となります。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	社会福祉援助技術演習Ⅰ（Skills Training for Social Work Practice）	授業コード	E021505
		担当教員	河村 裕次、田中 秀和、林 孝和		
学修内容					
1. オリエンテーション					
社会福祉援助技術演習Ⅰの意義・目的・内容について説明。					
予習	シラバスを確認し、授業の内容を把握しておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
2. 自己理解, 他者理解					
自己理解, 他者理解について学ぶ。					
予習	自己を理解することがソーシャルワークにどのようにつながるのか、調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
3. 疑似体験①(車椅子)					
車椅子の扱い方について学ぶ。					
車椅子利用者について理解する。					
予習	車いすが必要な人の生活について調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
4. 疑似体験②(ブラインドウォーク)					
視覚障がい者への支援について学ぶ。					
視覚障がい者について理解する。					
予習	視覚障害の方の生活について調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
5. 価値観について					
価値観の違いについて理解する。					
予習	個々の価値観がソーシャルワークにどのように影響するのか調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
6. コミュニケーション					
言語コミュニケーション, 非言語コミュニケーションについて理解する。					
予習	コミュニケーションについて調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
7. 面接技法					
面接場面を実際に体験し、面接技法について学ぶ。					
バイステックの7原則について学ぶ。					
予習	バイステックの7原則とその重要性について調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
8. ソーシャルワークの理念①(人権)					
ソーシャルワークに求められる人権について学ぶ。					
予習	人権とは何か、なぜ重視されるようになったのか調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	社会福祉援助技術演習Ⅰ（Skills Training for Social Work Practice） 河村 裕次、田中 秀和、林 孝和	授業コード	E021505
学修内容				
9. ソーシャルワークの理念②(社会正義[差別・偏見]) ソーシャルワークにおける社会正義について学ぶ				
予習	社会正義とは何か、ソーシャルワークとどのように関わるのか調べておく。			約2時間
復習	ワークシートの提出			約2時間
10. ソーシャルワークの理念③(社会的排除と社会的包摂) ソーシャルワークにおける社会的排除と社会的包摂について学ぶ				
予習	社会的排除と社会的包摂について調べ、なぜソーシャルワークで重視されるのかまとめておく。			約2時間
復習	ワークシートの提出			約2時間
11. ソーシャルワークの理念④(権利擁護) ソーシャルワークに求められる権利擁護について学ぶ				
予習	権利擁護について調べ、問題となるような事例について調べておく。			約2時間
復習	ワークシートの提出			約2時間
12. ソーシャルワークの理念⑤(自立支援) ソーシャルワークに求められる自立支援について学ぶ				
予習	自立支援について調べ、どのような場面で重要になるのか把握しておく。			約2時間
復習	ワークシートの提出			約2時間
13. ソーシャルワークの理念⑥(クライアントの利益の優先) ソーシャルワークに求められるクライアントの利益の優先について学ぶ				
予習	クライアントの利益の優先について調べ、どのような問題が起こり得るか調べておく。			約2時間
復習	ワークシートの提出			約2時間
14. ソーシャルワークの理念⑦(倫理的ジレンマ) ソーシャルワークにおける倫理的ジレンマについて学ぶ				
予習	倫理的ジレンマについて事例を調べ、自分だったらどのように対応するかまとめる。			約2時間
復習	ワークシートの提出			約2時間
15. 前期振り返り 前期の講義内容について振りかえる。				
予習	前期の内容を振り返り、まとめておく。			約2時間
復習	振り返りシートの提出			約2時間
16. オリエンテーション 後期演習Ⅰの意義、目的、内容についての説明				
予習	前期の内容を振り返り、まとめておく。			約2時間
復習	ワークシートの提出			約2時間

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	社会福祉援助技術演習Ⅰ（Skills Training for Social Work Practice） 河村 裕次、田中 秀和、林 孝和	授業コード	E021505
学修内容					
17. ソーシャルワークの理念⑧(個別化) ソーシャルワークに求められる個別化について学ぶ。					
予習		個別化について調べ、個別化が守られない時どのような問題が起こり得るのかまとめておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
18. ソーシャルワークの理念⑨(受容・非審判的態度) ソーシャルワークに求められる受容・非審判的態度について学ぶ。					
予習		受容・非審判的態度について調べ、それが守られていない時にどのような問題が起こり得るのかまとめておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
19. ソーシャルワークの理念⑩(自己決定) ソーシャルワークに求められる自己決定について学ぶ。					
予習		自己決定について調べ、それが守られない時にどのような問題が起こり得るのかまとめておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
20. ソーシャルワークの援助過程①(概説) ソーシャルワークの援助過程および援助内容について理解する。					
予習		ソーシャルワークの援助課程はどのように進むのか、調べておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
21. ソーシャルワークの援助過程②(インテーク1) インテーク面接の意義・目的について理解する。					
予習		インテーク面接で特に気を付けなければいけないこと、注意点等についてまとめておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
22. ソーシャルワークの援助過程②(インテーク2) インテーク面接のロールプレイを通じて、面接技法について理解する。					
予習		インテーク時の資料等を確認し、シミュレーションをしておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
23. ソーシャルワークの援助過程③(アセスメント1) フェースシートの作成(情報収集)方法を学ぶ。					
予習		アセスメントについて調べ、注意点等についてまとめておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間
24. ソーシャルワークの援助過程④(アセスメント2) アセスメントシートの作成(情報分析)方法を学ぶ。					
予習		資料のアセスメント用紙を確認し、シミュレーションをしておく。			約2時間
復習		ワークシートの提出			約2時間

○授業計画		科 目 名	社会福祉援助技術演習Ⅰ（Skills Training for Social Work Practice）	授業コード	E021505
		担当教員	河村 裕次、田中 秀和、林 孝和		
学修内容					
25. ソーシャルワークの援助過程⑤(プランニング1)					
生活課題の捉え方、目標の設定の仕方について学ぶ。					
予習	プランニング時に必要な情報、プランニングの方法等について調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
26. ソーシャルワークの援助過程⑥(プランニング2)					
必要な社会資源を考え、プランニングシートを作成する。					
予習	資料から、自分だったらどのようなプランニングを行うのか考えておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
27. ソーシャルワークの援助過程⑥(プランニング3)					
作成したプランニングシートを発表し、他グループとの共有を行う。					
予習	発表の準備。				約2時間
復習	プランニングシートの提出				約2時間
28. ソーシャルワークの援助過程⑦(モニタリング)					
どのような視点でモニタリングを行うのか学ぶ					
予習	モニタリングの視点について調べておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
29. ソーシャルワークの援助過程⑧(エバリュエーション)					
どのような視点でエバリュエーションを行うのか学ぶ					
予習	エバリュエーションの重要性、何に役に立つのかまとめておく。				約2時間
復習	ワークシートの提出				約2時間
30. 振り返り					
演習Ⅰの内容を振り返るとともに、演習Ⅱとの関連について理解する。					
予習	これまでの演習を振り返り、ソーシャルワークの過程についてまとめておく。				約2時間
復習	振り返りシートの提出				約2時間
31.					
予習					約2時間
復習					約2時間
32.					
予習					約2時間
復習					約2時間